市公式キャラクター
『エーナ』

所　管	まちづくり企画部企画課		
担　当	熊田	問い合わせ	0573-26-6806

報　道　機　関　　各位

株式会社マクニカとの次世代モビリティを活用したまちづくり連携協定締結式と自動運転実証実験について

株式会社マクニカと恵那市は、次世代モビリティを活用したまちづくりの推進を目的として、連携協定を締結しますのでお知らせします。また、自動運転実証実験を行いますので、ぜひ取材くださいますようお願いします。

記

１．連携協定締結式

（１）日　時　　令和６年 11 月 22 日（金曜日）午前 10 時から

（２）場　所　　恵那市役所　西庁舎３階　災害対策室

（３）内　容　　概要説明、協定書署名、あいさつ、記念撮影

（４）協定者　　株式会社マクニカ代表取締役社長　原　一将（はらかずまさ）
恵那市長　小坂　喬峰

（５）出席者　　株式会社マクニカ
イノベーション戦略事業本部
本部長　　佐藤　篤志（さとう　あつし）
イノベーション戦略事業本部
スマートシティ＆モビリティ事業部
事業部長　可知　剛（かち　たけし）
恵那市長、恵那市議会議長、その他関係者

（６）目　的　　恵那市と株式会社マクニカが相互に連携・協力し次世代モビリティを導入することで、地域のさらなる活性化と市民生活の向上を図り、まちづくりの推進に寄与することを目的とする。

（７）協定内容　①次世代モビリティの実装に向けた取組に関すること
②次世代モビリティの実装による地域活性化及び移動環境の向上に関すること
③その他目的を達成するために必要な事項

（８）経　緯　　恵那市は「東濃地域自動運転特区推進プロジェクトチーム（岐阜県、多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市及び下呂市)」の立ち上げに伴い、自動運転社会実装に向けた取り組みをしています。
この度、多くの自治体との実証実験の実績を持つ株式会社マクニカから、本市での自動運転実証実験実施の提案がありました。今後も同社と連携することで、次世代モビリティを活用した地域活性化や移動手段の向上等、一層の市民生活の向上が図られることから、締結が実現しました。

２．自動運転車両実証実験

（１）日　時　　令和６年 11 月 23 日（土曜日）
午前 11 時から午後１時まで（６便予定）
午後３時 40 分から４時 40 分まで（３便予定）

（２）発着場所　恵那駅前バス停

（３）実施内容　・レベル２での自動運転実証実験
（アクセルやブレーキ操作、ハンドル操作の両方が部分的に自動化された運転走行の実験。なお、レベル５は完全な自動運転走行を指す。）
・コースは恵那駅前バス停を発着とする駅前周遊コース
・運行距離約 700m、乗車時間約 15 分
・最大乗車人数９人（乗客８人＋ドライバー１人）
・最高速度 18km/h

（４）みどころ　本市では初めての自動運転実証実験です。また、車体には、市独自のラッピングを予定しています。

３．報道機関・関係者向け体験試乗会

令和６年 11 月 22 日（金曜日）協定式終了後、恵那駅前バス停へ移動し体験試乗会を実施します。

※第１便は、協定出席者を載せて午前 11 時頃出発します。

※報道機関の皆さまには、午前 11 時 20 分頃からの第２便以降に乗車いただけます。乗車される場合は、11 月 15 日（金曜日）までにご連絡ください。

自動運転車両イメージ写真